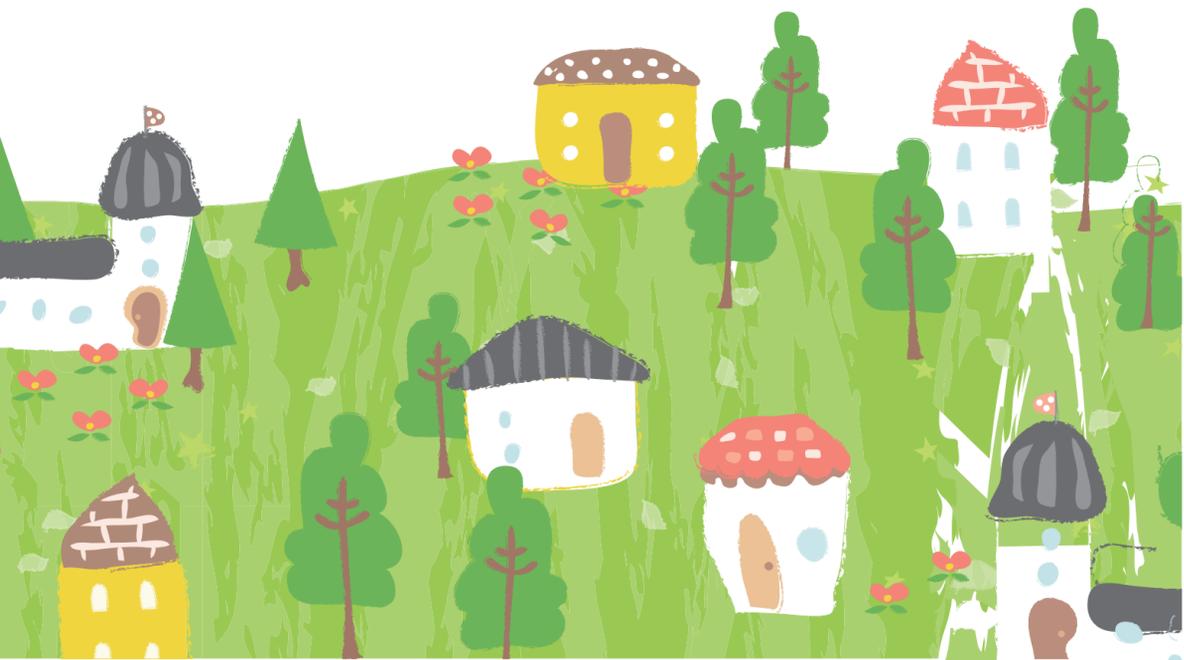


Geospatial EXPO 2018
地理空間情報科学で未来をつくる

入場無料

地理空間情報フォーラム2018
ガイドマップ

地理空間情報フォーラム2018主催者
公益社団法人 日本測量協会、一般社団法人 全国測量設計業協会連合会、
一般社団法人 日本測量機器工業会、公益財団法人 日本測量調査技術協会
<http://www.g-expo.jp>



地理空間情報フォーラム2018

地理空間情報科学で未来をつくる

地理空間情報フォーラム2018では、企業・団体・機関等の展示・体験イベント等により、日本のG空間社会(地理空間情報高度活用社会)を支える最先端の技術やサービス等を紹介いたします。

2018年11月		
15日(木)	16日(金)	17日(土)
展示会場 (企画展示会場)		
体験イベント (屋内/屋外)		
ベンダーフォーラム 1F 展示会場内メインステージ	日本測量協会主催 シンポジウム 7F コンファレンスルーム 土星	全国測量設計業協会連合会主催 シンポジウム 7F コンファレンスルーム 天王星

体験イベント

- ◆測量コンテスト
【日時】2018年11月15日(木)～17日(土)
【会場】日本科学未来館1F シンボルゾーン内
【主催】(公社)日本測量協会
- ◆距離を測る体験「歩測大会」
【日時】2018年11月15日(木)～17日(土)
【会場】日本科学未来館屋外
【主催】(公社)日本測量協会
【対象】どなたでも参加いただけます。(当日参加受付)
※天候により中止になる場合があります。

- ◆「測量船」一般公開
【日時】2018年11月17日(土)
【会場】東京お台場
日本科学未来館よりマイクロバスにて、
現地まで送迎いたします。
【協力】海上保安庁
【対象】どなたでも参加いただけます。(当日参加受付)
※天候により中止になる場合があります。

アクセスマップ

日本科学未来館
〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 Tel: 03-3570-9151

- 新交通ゆりかもめ (新橋駅～豊洲駅)
「船の科学館」下車、徒歩約5分、「テレコムセンター」下車、徒歩約4分
- 東京臨海高速鉄道りんかい線 (新木場駅～大崎駅)
「東京レポート」下車、徒歩約15分

フロアマップ

7F コンファレンスルーム土星
・三次元点群に挑む!～技術の特性を踏まえ～ 11月16日(金)
・女性技術者として働き続けるために～女性技術者へのエール～

1F 測量コンテスト 11月15日(木)～17日(土)
ベンダーフォーラム 11月15日(木)
メインステージ

G空間EXPO メッセージゾーン | 地理空間情報フォーラム | Geoアクティビティコンテスト

ベンダーフォーラム

【日時】2018年11月15日(木) 10:45～16:30
【場所】日本科学未来館1F 展示会場内メインステージ
【対象】どなたでも参加いただけます。

【ベンダーフォーラム会場時間割】

時間	社名	タイトル
10:45～11:15	日本海洋株式会社	LIDARによる点群データと画像の容易で高精度の融合
11:30～12:00	国際航業株式会社	屋久島を測った国際航業の森林リモートセンシング技術
13:00～13:30	インフォメーションバンクコンソーシアム	情報銀行
13:45～14:15	国立研究開発法人 防災科学技術研究所	災害時における情報共有・利活用支援 ～ISUT、SIP4D、NIED-CRSの取り組み～
14:30～15:00	株式会社快適空間FC	UAVレーザー計測における現状と課題
15:15～15:45	株式会社岩根研究所	映像がそのまま3D地図になる!だから画像で位置標定!!
16:00～16:30	アイサンテクノロジー株式会社	準天頂衛星測位と大規模3次元点群の高度利用紹介

シンポジウム

公益社団法人日本測量協会

【場所】日本科学未来館7F コンファレンスルーム土星 **測量CPDポイントの対象**
【対象】事前申込制

■三次元点群に挑む!～技術の特性を踏まえ～
【日時】2018年11月16日(金)13:00～15:00
【概要】三次元点群データの個性(特性と性能)を理解し、健全な測量と利用を促進するため、先駆的な取り組みをされている方に特別講演をお願いし、それを受けて各三次元点群データ作成技術の専門家と交え、パネルディスカッションを行います。

プログラム
特別講演
三次元点群に挑む～三次元点群からの地物化
ダイナミックマップ基盤株式会社 柳澤 哲二氏

パネルディスカッション
司会 公益社団法人日本測量協会 津留 宏介
パネラー
中日本航空株式会社 都竹 正志氏
株式会社上智 五十嵐 司氏
アジア航測株式会社 山崎 廣二氏
株式会社バスコ 堺 浩一氏
国際航業株式会社 名草 一成氏
昭和測量株式会社 石原 圭氏

■女性技術者として働き続けるために～女性技術者へのエール～
【日時】2018年11月16日(金)15:20～17:00
【概要】測量・地理空間情報業界の女性技術者が、より長く、自立して生き生きと働き続けるヒントを得るために、周辺業界の女性技術者をお招きして、講演会とパネルディスカッションを開催いたします。

プログラム
特別講演
女性技術者として働き続けるために
一般社団法人土木技術者女性の会 須田 久美子氏

パネルディスカッション
司会 女性の技術力向上委員会 株式会社バスコ 二木 あさ子氏
パネラー
一般社団法人土木技術者女性の会
一般社団法人建築設備技術者協会 設備女子会
一般社団法人建設コンサルタンツ協会 関東支部 女性の会WG
アドバイザー
一般社団法人土木技術者女性の会 須田 久美子氏

一般社団法人全国測量設計業協会連合会

【場所】日本科学未来館7F コンファレンスルーム天王星 **設計CPDポイントの対象**
【対象】事前申込制

■国土強靱化に対応した国及び測量・設計業団体の活動状況
【日時】2018年11月16日(金)13:30～17:00
【概要】近年日本各地での災害復旧に向けた活動について国及び会員企業から説明します。

プログラム
特別講演
国土強靱化に向けた国土づくり
内閣官房国土強靱化推進室 山田 邦博氏
激甚化する水害 参議院議員 足立 敏之氏

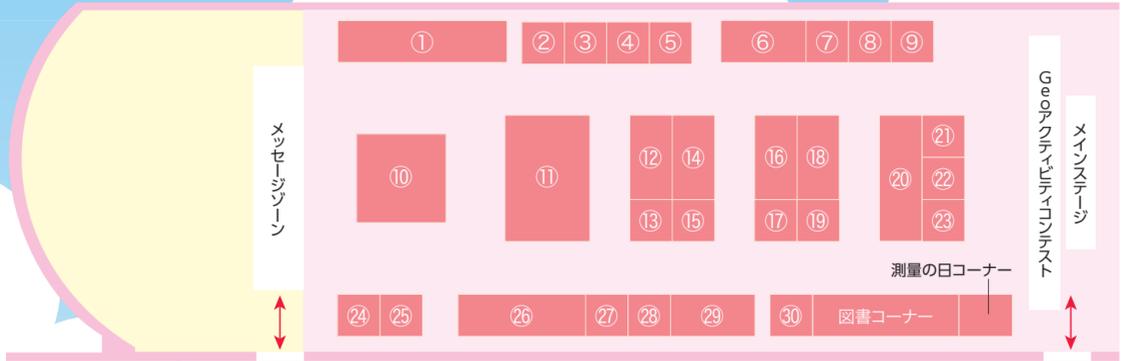
講演 長野県下での活動状況について 一般社団法人長野県測量設計業協会



2017年シンポジウム

地理空間情報フォーラム2018

出展者一覧



小間番号 1 アイサンテクノロジー株式会社/三菱電機株式会社

準天頂測位技術と高精度空間情報の取得～活用システム紹介
<展示概要>
宇宙事業で高い信頼性を誇る三菱電機から、準天頂衛星利用でリアルタイムにセンチメートル級測位を実現する受信端末、走りながら高精度3次元空間情報を取得するモバイルマッピングシステム(MMS)を出展。
アイサンテクノロジーからは、ドローンやレーザーキャナで計測した大規模3次元点群を高遠かつ効果的に活用する特許技術、測量の現場作業にも作業にも革新をもたらす外業端末と測量支援システムなど、様々な測量・計測シーンに応える機器とソフトウェアを紹介。
アイサンテクノロジーと三菱電機は、BIM/CIM+Construction対応ツールの提供、自動運転の推進など、これからは高度な情報を身近に利用する技術で、地理空間情報のさらなる活用を推進してまいります。

小間番号 2 国立研究開発法人 国立環境研究所

環境情報メディア「環境展望台」の紹介
<展示概要>
国立研究開発法人国立環境研究所では、WEBサイト「環境展望台」(http://tenbouines.jp/)を公開し、環境に関する情報をわかりやすく提供することに取り組んでいます。今回は、そのコンテンツの一つである「環境GIS」について、解説パネルやPCを使って紹介いたします。
「環境GIS」では、日本国内における環境の状況(大気汚染や水質汚濁など)や環境指標・統計(人口分布や人口など)をはじめとする様々なデータをGIS技術により地図やグラフで表示し、わかりやすく提供しています。

小間番号 3 株式会社快適空間FC

無人航空機搭載型レーザー計測装置および無人ポート搭載型マルチビーム計測装置
<展示概要>
準天頂衛星「みちびき」の本格運用により空間情報を効率的かつ高精度に計測することが期待されます。快適空間FCでは、建設現場における生産性向上を最新の技術で支えます。
「無人航空機搭載型レーザー計測システム」は、20分間のフライトで400m×400mの広域を3次元計測することができます。
「無人ポート搭載型マルチビーム計測システム」は、これまで困難であった機材の取付けキャリブレーションを簡単な構造と短時間のキャリブレーションで高精度な計測を可能とします。また、無人ポートによる計測により省力化することが可能です。

小間番号 4 アジア航測株式会社

地理空間情報
<展示概要>
アジア航測は自社保有の航空機や最新測量機器による空間情報の収集・解析から活用方法の提案、実務プラン策定まで、各用途に適した技術サービスを提供することで、安全・安心で豊かな社会を支えています。
当社サービスでは、広域または局所的な計測、災害時や平常時など様々な場面に適した機材を用いて取得した空間情報(災害直後の状況把握・道路管理のための道路空間の取得・詳細地形の把握・3Dモデルの生成など)をご紹介します。

小間番号 5 測位衛星技術株式会社

シームレスなポジショニング技術で未来を創造
<展示概要>
位置情報に関する製品とシステムを紹介しています。宇宙からの電波はどのようなことに利用されているのか、みちびき衛星はもちろん、世界中の測位衛星システムの受信機とそのシステムの展示をしています。

小間番号 6 一般社団法人 日本測量機器工業会

i-Construction
<展示概要>
測量機器・システムは、測量・建設の分野で幅広く活用されていますが、更に先進の測量機器・システム(ドローン、3Dレーザーキャナ等)も加えて、i-Constructionなど土木・建設工事や、農業分野での生産性、プロセスの効率化に貢献し、また社会インフラの構築・メンテナンスなどにも活用が期待されています。こうした測量機器・システムの利用の広がりについてご紹介します。

小間番号 7 日本海洋株式会社

LiDARと写真測量の統合、GCP不要高精度写真測量の紹介
<展示概要>
・GPS/IMUとRGB画像を統合し、高精度写真測量を実現
・従来方法と比べ、サイドスキャンを大幅に削減
・結果として、より広い領域をより少ない時間で測量可能

小間番号 8 株式会社アドインテ

**様々なプレイスのIoT化を実現！
独自開発世界で唯一のデータマイニング技術xiBeaconデュアルセンサ &DMPで全ての場所のリアルO2Oを実現します。**
<展示概要>
AIBeacon端末を店舗、各種商業施設に設置するだけで施設近隣にいるスマートフォンユーザーの行動特性を取得でき、付随する解析ツールを併用することで「いつ、どこからい」の人がプレイスに接触しているかが分かります。また、ユニークID計測により「リピート数・率」も解析可能です。ユーザーの特性を細かく分析できることでより効果的なアプローチが期待できます。

小間番号 9 株式会社プログウォッチャー

“位置情報データ”を活用した、最新「技術」「プロダクト」「ソリューション」
<展示概要>
スマートフォンから取得されるGPSを活用した位置情報データを、独自のSDKを活用して取得。ユーザー許諾を得た、国内最大級の位置情報データベースを活用して、研究したデータの最新活用方法について展示いたします。

小間番号 10 宇宙衛星ゾーン

**内閣府 宇宙開発戦略推進事務局
準天頂衛星システム サービス株式会社
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
一般財団法人 衛星測位利用推進センター**

宇宙技術がG空間社会の未来を拓く
<展示概要>
2018年度から4機体制での運用を開始する日本の衛星測位システムみちびき(準天頂衛星システム)は「日本版GPS」とも呼ばれ、GPSとの高い互換性を向上させ、数メートル、数センチメートルの精度を実現し、災害時の情報配信、安否情報を収集する独自のサービスを提供します。みちびきをはじめとして、さまざまな宇宙技術がG空間社会に貢献し、欠かせないものとなっている姿を、映像や模型などの各種展示で、皆様にわかりやすくご紹介いたします。

体験イベント 宇宙から見える東京都内周辺の景色を眺めてみよう！
<イベント概要>
人工衛星「だいち」が宇宙から撮影した東京都内周辺の画像を、大きな床敷きマップにて展示します。宇宙からの景色がどのように見えるのか、ぜひ体験してみてください！もしかしたら、あなたの住んでいるおうちが見つかるかもしれません！
<主催> 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 小間番号【10】
<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 11 CVビジネス研究会

映像がそのまま3D地図になる！だから画像で位置標定!!!
CVビジネス研究会では、「映像がそのまま3D地図になる」のコンセプトに基づき、全天球映像から3D地図を生成する「Camera Vector技術」を活用した製品およびサービスの具体的な展開について実践的に研究しています。今回は、リアリティの高い実写版ドッキング・シミュレーター、撮影測量装置(UIMS3)と地下空洞探査装置を併せた「GMS3」、ドローンで空からのマッピングを行う「スカイCVサービス」、小型全天球カメラとレーザーを用いた高精度な3Dモデルを生成する「Info360」、小型全天球カメラを用いた歩行システム、CV映像を共有するためのクラウド配信「WebALP」システム、CV映像を自律走行の乗り手とする自己位置標定、その他CV映像を用いたサービスをご紹介します。

体験イベント スカイCVサービス(ドローン全天球動画を用いた空のマッピング)
<イベント概要>
ドローンに小型の全天球カメラと位置情報を取得するGNSSを搭載して収集した全天球映像を3D解析し、計測、情報の埋め込み、CG合成によるシミュレーション等が可能になる空からのマッピングに関するサービスの概要をご紹介します。
<主催> CVビジネス研究会 小間番号【11】
<対象> どなたでもご参加いただけます。

小間番号 12 株式会社パスコ

<展示概要>
進化する地理空間情報技術の研究開発や活用分野をご紹介します。
1) 自然災害の状況把握と復旧・復興支援(災害緊急撮影)
2) 「衛星×AI」
3) 3次元計測技術と実用化研究
4) オープンデータ活用推進 など

小間番号 13 朝日航洋株式会社

オープンソースソフトウェアQGISと3次元空間情報サービスgood-3D
<展示概要>
朝日航洋では、近年急速に普及している誰もが気軽に利用できるオープンソースソフトウェアの地理情報システムQGISとその付帯サービス、東京23区エリアを対象に2018年3月に航空写真撮影・レーザー計測したデータをご紹介します。
QGISの優れた性能と機能、それを支える朝日航洋のサービスを、さまざまな用途で紹介できる最新の航空写真と高精度な3次元点群データをぜひご覧ください。

小間番号 14 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

防災科研クライシスレスポンスサイト(NIED-CRS)
<展示概要>
平成30年7月豪雨の災害対応において、Web-GISを活用した情報共有支援活動をご報告いたします。発災直後から研究員を被災自治体に派遣し、被害状況や対応状況などの情報に、戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)で開発中のシステムが集約した地理情報などをWeb-GISに整理したうえで、現地の防災関係機関に提供するという活動を実施しました。

体験イベント 災害対応支援地図の操作体験
<イベント概要>
防災科研クライシスレスポンスサイト(NIED-CRS)の操作を体験できます。
<主催> 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 小間番号【14】
<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 15 Pax International

<展示概要>
DAT/EM System International社はデジタル航空写真、地上写真、衛星写真等を使用して地図作成、オルソ画像、MMS地図作成等の多目的な用途達成のためにSummit Evolution, Landscape, Dgn Dwg Capture, MapEditor, Ortho+Mosaic, Contour Creator等の製品を開発しております。またサポートチームも迅速に対応する為に安心して活用できます。

小間番号 16 国際航業株式会社

持続可能な社会形成に資するリモートセンシング ～国際航業の空間情報技術～
<展示概要>
国際航業は、空間情報技術を礎として、一歩先の未来を構築する企業です。G空間EXPO2018では、私たちの生活に広く大きく役立っている空間情報技術のうち、地球環境の保全、持続可能な社会の形成に資するリモートセンシングを中心に紹介いたします。史上初の屋久島全島の航空レーザー計測、空から森林の状態を診断し見える化するサービス「診ま森」のご紹介、地球環境データを地球ディスプレイに投影しSDGsの考え方を広めるツールとして小型インタラクティブ地球儀「SPHERE(スフィア)」の展示を行います。

小間番号 17 インフォメーションバンクコンソーシアム

インフォメーションバンクコンソーシアムの御紹介
<展示概要>
「情報銀行」はパーソナル情報を取り扱うHUBとなり、安全かつ安心してパーソナル情報を管理し活用するための試みです。データポータルを基として、大量に生成されたパーソナル情報を個人が自ら統合し利用をコントロールする可能性が拓けてきました。同時に、個人が統合するパーソナル情報を利用しながら、産業や公共など社会に価値を還元できるエコシステムを作ることが急務となっています。統合された「パーソナル情報は大きな価値を持つ半面、社会の様々なところで大きな影響を与えます。コンソーシアムで検討している「情報銀行」の適切な利用の仕組み、それを支えるトラスト形成の仕組み、法制度面での課題などを御紹介します。

小間番号 18 国土交通省 国土地理院

国土地理院の国土を測る・描く・守る活動の紹介
<展示概要>
国土地理院は、「国土を測る・描く・守る」を任務とし、国民が安全・安心・豊かな生活を営むことができるための環境整備として「G空間社会」の推進に取り組んでいます。本フォーラムでは、「平成の30年を振り返る」をテーマに、J-Netで国土地理院の取り組みを紹介します。また、新計測機器の展示、地理院地図を用いて作成した3D模型の展示、東京都部の地形が立体視できるデジタル標高地形図や電子基準点がとらえた日本の地殻変動図の展示等も行います。

小間番号 19 総務省統計局/独立行政法人 統計センター

政府統計の総合窓口(e-Stat)の機能紹介
<展示概要>
総務省統計局、独立行政法人統計センターは、各府省等が公表する統計関係の情報を集約し、統計データの検索、地図表記、ダウンロード等の機能を備えた「政府統計の総合窓口(e-Stat)」を運用しております。本展示ブースでは、統計データを地図上に「見える化」する機能、レポート作成、地図ソフトに用いる統計データや境界データがダウンロード機能等を備えた「地図で見える統計(JSTATMAP)」を中心にデモ・トレーニングを交えて紹介します。

体験イベント 「地図で見える統計(JSTATMAP)」の活用方法
<イベント概要>
・身近な地域を「地図で見える統計(JSTATMAP)」を使って地図に表示してみよう。
・自宅で見られる統計教育を体験してみよう！
<主催> ・総務省統計局 ・独立行政法人 統計センター 小間番号【19】
<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 20 国土交通省国土政策局

国土数値情報の活用事例
<展示概要>
「国土数値情報」は、国土利用計画等の策定や国土政策の推進のため、地形、土地利用、公共施設、道路、鉄道等、国土に関する地理的情報を数値化したGISデータです。これらの成果は、国土交通省ホームページにより一般提供しており、平成29年度のダウンロード件数は年間117万件に及び、行政施策・研究・産業分野などに広く利用されています。本展示では、国土数値情報等を活用した政策分析・研究成果等と併せて、これらの成果発表・情報共有の場として「北海道地理空間フォーラム札幌」/「中国地理空間フォーラム広島」をはじめとする全国の産学官イベントの開催、G空間EXPOの全国展開についてご紹介します。

国土交通省 高精度測位社会プロジェクト

国土交通省 高精度測位社会プロジェクト
<展示概要>
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会までには、準天頂衛星4機体制の整備、屋内外測位環境・技術の進展、携帯情報端末の普及・高度化等により、高精度な測位環境が整備された社会(「高精度測位社会」)の実現が見込まれています。こうした未来の社会像を見据えつつ、屋内外電子地図や屋内測位環境等の空間情報インフラの整備・活用実証を通じた「サービスの見える化、空間情報インフラの効率的・効果的な整備手法や継続的に維持・更新する体制の検討を行い、民間事業者等による多様なサービスを創出し、思い環境づくりを推進し、外国人・高齢者・障がい者を含む誰もが円滑に移動・観光を楽しむためのストレスフリー社会の構築を目指します。

小間番号 21 ICC2019(第29回国際地図学会議)組織委員会

国際地図学会議(ICC)東京大会2019への招待
<展示概要>
国際地図学会議(ICC)は、地図学分野で最も歴史と権威のある国際会議で、1年おきに世界各地で開催していますが、1980年に第6回大会を東京で開催して以来、39年ぶりに2019年7月に東京で開催することになりました。この間、地図に関わる分野は大きく変貌し、GISと一体となって長足の進歩を遂げています。世界中の地図学に関わる研究者・技術者、地図作成機関、民間企業と一緒にするICC2019は、世界の最新動向を知る絶好の機会となることと期待されます。この展示では、ICCの概要と魅力を御紹介します。

小間番号 22 陸上自衛隊 中央情報隊 地理情報隊

地理情報隊の業務紹介
<展示概要>
地理情報隊では陸上自衛隊が行動する上で必要な各種地理空間情報を作成しています。地理情報隊の概要をはじめ、作成している地理空間情報について紹介します。

小間番号 23 公益社団法人 日本測量協会

体験イベント UAVフライトシミュレータによる操作体験
パソコンとコントローラーでUAVのフライトシミュレータの操作ができます。お子様から大人まで幅広くお楽しみいただけます。これからUAVを活用したいと考えている測量会社の方も、テクニクや技術を磨くためにも活用できるシミュレータです。風景やUAV自体もリアルに再現されています。

小間番号 24 リーグルジャパン株式会社

地上型レーザーキャナ、UAVレーザーキャナ
<展示概要>
◆UAVレーザーキャナ(LUS)
・この1〜2年で急速に普及してきているUAVレーザー。確かなデータを取得するためのハイエンドモデルタイプLUSを展示・ご紹介いたします。
◆地上レーザーキャナ(TLS)
・i-Constructionの活用にとどまらず、プラズマアルファの3次元計測が可能なハイスペックモデルTLSを実際に動かしながらご紹介いたします。

小間番号 25 ESRIジャパン株式会社

ArcGISプラットフォーム(イメージ&3D)
<展示概要>
GISプラットフォーム「ArcGIS」が提供する様々な機能の中から、「イメージ(画像)」と「3D」をテーマとして、最新のGIS機能を紹介します。
◆イメージ
ArcGISは、これまで様々なイメージ(画像)の処理・管理・利用に関する機能を充実させてきています。本ブースでは少しの工夫で様々な結果を得ることができる使い方やヒント、使用例をデモンストレーションを交えながらご紹介いたします。
◆3D
地図データ、航空写真、数値標高モデル、BIM/CIM、点群など、3D GISは、さまざまなG空間データを統合してバーチャル空間を構築し、この中で事象の可視化や解析を実行できる技術です。最新のデジタル技術と融合した3D GISを是非体験してください。

小間番号 26 日本放送協会(NHK)

4K・8Kの紹介
<展示概要>
NHKでは、2018年12月1日からBS4KとBS8Kの本放送を始めます。本放送に先立ち、4Kと8Kの魅力を与える展示を紹介いたします。8Kモニターでは、高精細な映像をいかして「宇宙体験」ができるインタラクティブ(双方向)の展示を実施。4Kモニターでは、12月から放送される番組の映像をいち早く紹介します。受信方法がわかるパンフレットも配布。4K8Kを身近に体験していただくコーナーです。

体験イベント 8Kインタラクティブで遊ぼう！
<イベント概要>
「8Kアポロビューアー」は、月に降り立った宇宙飛行士たちが撮影した300枚の写真を8K化して、現代によみがえらせます。画像を自由に選び拡大することで、月に立ったような臨場感をお楽しみいただけます。「8K宇宙図鑑」では、NASAの火星探査車「キュリオシティ」が撮影した画像を360°のパノラマ画像につなげ、8Kで再現しています。高精細な画像を自由に動かしながら「宇宙体験」をお楽しみください。
<主催> 日本放送協会(NHK) 小間番号【26】
<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 27 インクリメントP株式会社

ベクターマップからルート沿い天気予報まで位置情報コンテンツのご紹介
<展示概要>
インクリメントPは、ベクターマップ、ルート沿い天気予報・歩行者3Dデモ・ASEAN地図・駐車場まとめて検索・未定地図など、試作データを含む地図データをはじめとした各種位置情報コンテンツを展示します。ご来場の際は是非お立ち寄りください。

小間番号 28 G空間情報センター

G空間情報センター
<展示概要>
運営開始から2年を迎えるG空間情報センターについて、誰もがいつでも必要なG空間情報を容易に検索・入手可能なプラットフォームとして、G空間情報センターが実現できることおよび最近の取組みをご紹介します。

小間番号 29 国立研究開発法人 産業技術総合研究所

G空間情報解析プラットフォーム
<展示概要>
産総研で研究を進めている「位置」や「移動」に着目したG空間に関する研究開発事例を紹介いたします。特に、(1)大規模な移動体データ管理・利用、(2)大規模人流解析、(3)車輪型移動体向け自律航法技術、(4)高精度マーカーによる測位、(5)視覚障害者移動支援、(6)自律移動ロボットによるA・現場理解、(7)衛星画像データの活用など、基礎的な研究から応用的な研究まで幅広く紹介いたします。自律移動ロボットが会場内を動き回ります。

小間番号 30 公益社団法人 日本測量協会

日本測量協会の業務紹介
<展示概要>
日本測量協会及び測量技術センターの業務について、パネルとスライド画像を用いて紹介します。また、日本測量者連盟(UFS)の活動について、パネルとビデオ映像を用いて紹介します。

体験イベント 距離を測る体験コーナー
<イベント概要>
事前に定めた区間で、参加者が測測と光波測距離(TS)により距離測定を行うことで、測量を身近に感じていただくコーナーです。参加者は、自分の歩当りの歩幅と歩数から距離を求め、その区間の距離をTSで正確に測定します。歩測で求めた距離とTSで求めた距離を比較し、その誤差が小さい場合は、「歩測の達人」の称号を授与します。
<主催> 公益社団法人 日本測量協会 野外(日本科学未来館 チケット売り場前)
<対象> どなたでもご参加いただけます